

目次

1. 工作機械統計・産業動向	
◆米国工作機械受注統計(7月)	1
◆米国工作機械受注統計(地域別)	2
◆韓国工作機械主要統計(2014年6月)	3
2. 主要国・地域経済動向	
◆米国: PMI 59%(8月)	5
◆米国: 製造業設備稼働率は若干減少(7月)	6
◆ドイツ工作機械産業、依然として好調	6
◆7月機械受注プラマイゼロに	7
◆欧州: EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と 資本財生産月次推移(8月)	7
◆ルーマニアの機械需要拡大、国外からの調達 が中心	7
3. 工作機械関連企業動向	
◆Schuler社、新製品の登場で10%の成長	7
◆Hardinge社、Voumard社を買収	9
◆Hardinge社、2014会計年度第2四半期の決算 報告	9
◆Hurco社、2014会計年度第3四半期の決算 報告	10
4. その他	
◆ユーザー関連トピックス	11
5. 日工会外需状況(8月)	15

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(7月)

AMT(米国製造技術工業協会)発表の受注統計(US-MTO)によると、2014年7月の米国切削型工作機械受注は、3億4,560万ドルで前月比11.2%減、前年同月比0.7%減となった。

AMTのWoods専務理事は「製造業は引き続き、米国経済のけん引役である。月次受注は減少したものの、設備投資の環境は整ったと信じている。7月の好調なPMI指数と記録的な米国輸出高を見ても、製造業減速の要因は見当たらない。その上、設備投資は、円熟期を迎え、低金利が続いている。IMTS以降は、受注増となることと思う。」と述べた。

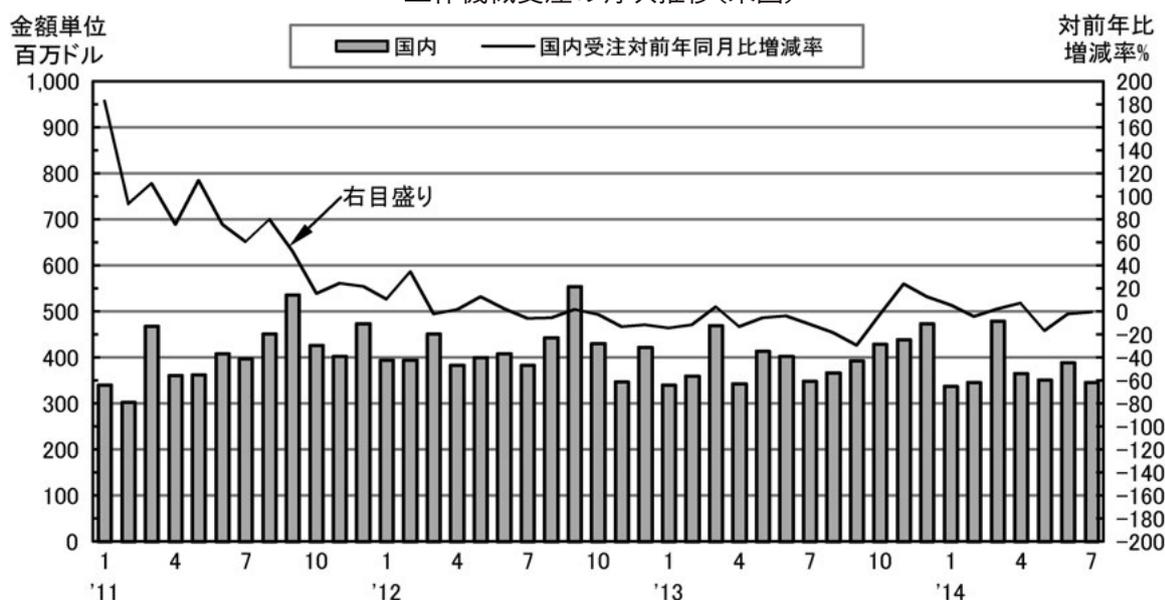
(USMTOレポート 9月8日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位:千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2013年1月	1,954	339,725
2月	2,014	359,701
3月	2,220	469,128
4月	1,924	342,962
5月	2,232	414,180
6月	2,149	402,500
7月	1,982	347,928
8月	2,136	367,130
9月	2,223	393,427
10月	2,624	429,180
11月	2,366	433,750
12月	2,582	469,354
2013年累計	26,406	4,768,965
2014年1月	1,738	336,884
2月	1,921	346,491
3月	2,378	479,422
4月	2,140	365,751
5月	2,099	351,581
6月	2,166	389,069
7月	1,980	345,599
2014年累計	14,422	2,614,797

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2014年7月 (P)	2014年6月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比 (%)	2014年累計 (P)	2013年累計 (R)	前年同期比 (%)
全米	切削型	345.60	389.07	-11.2	347.93	-0.7	2,628.74	2,676.12	-1.8
	成型型	9.03	11.53	-21.7	11.77	-23.3	82.62	97.93	-15.6
	計	354.63	400.60	-11.5	359.70	-1.4	2,711.36	2,774.05	-2.3
北東部	切削型	50.85	55.29	-8.0	73.36	-30.7	417.55	455.11	-8.3
	成型型	D	2.31	D	2.87	D	13.30	15.08	-11.8
	計	D	57.60	D	76.23	D	430.85	470.19	-8.4
南東部	切削型	30.23	30.44	-0.7	34.18	-11.6	238.69	239.71	-0.4
	成型型	D	D	-80.9	D	-69.4	6.49	11.48	-43.5
	計	D	D	-5.4	D	-13.5	245.17	251.19	-2.4
北中東部	切削型	87.89	113.69	-22.7	79.92	10.0	715.58	673.94	6.2
	成型型	3.41	3.18	7.2	2.87	18.7	39.28	38.92	0.9
	計	91.30	116.87	-21.9	82.79	10.3	754.86	712.86	5.9
北中西部	切削型	60.37	79.09	-23.7	56.24	7.3	427.94	489.88	-12.6
	成型型	D	3.27	D	1.62	D	D	22.76	D
	計	D	82.36	D	57.86	D	D	512.64	D
南中部	切削型	63.94	56.47	13.2	58.02	10.2	429.10	426.96	0.5
	成型型	1.13	0.15	633.2	2.83	-60.1	5.68	6.62	-14.1
	計	65.07	56.63	14.9	60.85	6.9	434.78	433.58	0.3
西部	切削型	52.32	54.08	-3.3	46.21	13.2	399.88	390.52	2.4
	成型型	D	D	103.3	D	271.8	D	3.07	D
	計	D	D	-1.9	D	15.4	D	393.59	D

P：暫定値 R：改定値 *：1,000%以上

D：調査参加者数の変更により、成型型及び組み立機の前年同期比データは、正確に発表することが出来ない。
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。

出所：USMTO

◆韓国工作機械主要統計(2014年6月)

韓国工作機械受注(2014年6月)

○業種別受注(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

需 要 業 種	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
鉄鋼・非鉄金属	10,381	9,163	-11.7	59,741	60,329	1.0
金属製品	14,213	14,939	5.1	84,163	90,152	7.1
一般機械	31,568	23,629	-25.1	167,652	187,813	12.0
電気機械	28,603	19,244	-32.7	126,264	138,428	9.6
自動車	42,373	56,084	32.4	306,987	305,449	-0.5
造船・輸送用機械	13,123	5,298	-59.6	54,953	52,623	-4.2
精密機械	4,125	1,897	-54.0	23,969	18,687	-22.0
その他製造業	6,310	5,479	-13.2	45,145	41,469	-8.1
官公需・学校	1,749	1,405	-19.7	5,849	10,022	71.3
商社・代理店	7,354	6,752	-8.2	49,794	46,205	-7.2
その他	1,051	225	-78.6	1,431	2,154	50.5
内 需 合 計	160,850	144,115	-10.4	925,948	953,331	3.0
外 需	160,995	126,127	-21.7	1,120,909	959,261	-14.4
受 注 累 計	321,845	270,242	-16.0	2,046,857	1,912,592	-6.6

出所：韓国工作機械産業協会

○機種別受注(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

機 種	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
N C 小 合 計	268,230	235,301	-12.3	1,746,660	1,657,145	-5.1
NC旋盤	96,387	79,412	-17.6	602,505	548,179	-9.0
マシニングセンタ	128,208	108,205	-15.6	732,212	717,808	-2.0
NCフライス盤	763	529	-30.7	8,449	6,435	-23.8
NC専用機	25,500	31,400	23.1	298,465	266,500	-10.7
NC中ぐり盤	6,856	5,392	-21.4	32,996	37,474	13.6
NCその他の工作機械	10,516	10,363	-1.5	72,033	80,749	12.1
非 N C 小 合 計	12,350	10,193	-17.5	69,759	65,909	-5.5
旋盤	2,706	2,425	-10.4	14,756	14,942	1.3
フライス盤	3,701	3,819	3.2	22,952	23,705	3.3
ボール盤	86	187	117.4	749	800	6.8
研削盤	4,827	3,407	-29.4	22,825	20,564	-9.9
専用機	510	0	-	3,995	2,652	-33.6
金属切削型	280,580	245,494	-29.8	1,816,419	1,723,054	-10.6
金属成形型	41,265	24,748	-40.0	230,438	189,538	-17.7
総 合 計	321,845	270,242	-16.0	2,046,857	1,912,592	-6.6

出所：韓国工作機械産業協会

韓国工作機械生産&出荷統計(2014年6月)

○生産(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
N C 小 合 計	233,450	279,400	19.7	1,338,554	1,474,196	10.1
NC旋盤	94,312	110,471	17.1	605,394	582,991	-3.7
マシニングセンタ	86,341	111,651	29.3	486,926	572,114	17.5
NCフライス盤	-	81	-	4,722	2,323	-50.8
NC専用機	39,024	39,785	2.0	144,581	216,213	49.5
NC中ぐり盤	5,227	9,810	87.7	43,119	41,507	-3.7
NCその他	8,546	7,602	-11.0	53,812	59,048	9.7
非 N C 小 合 計	7,263	6,643	-8.5	54,487	45,753	-16.0
旋盤	2,361	2,299	-2.6	17,420	15,082	-13.4
フライス盤	2,131	2,463	15.6	23,050	16,273	-29.4
ボール盤	243	145	-40.3	1,630	1,365	-16.3
研削盤	1,512	1,387	-8.3	9,566	8,826	-7.7
専用機	510	-	-	2,305	2,652	15.1
その他	506	349	-31.0	516	1,555	201.4
金属切削型合計	240,713	286,043	11.2	1,393,041	1,519,949	-5.9
金属成形型合計	27,283	22,840	-16.3	161,366	157,321	-2.5
総 合 計	267,996	308,883	15.3	1,554,407	1,677,270	7.9

出所：韓国工作機械産業協会

○出荷(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
N C 小 合 計	239,111	267,414	11.8	1,449,920	1,431,212	-1.3
NC旋盤	99,873	121,778	21.9	633,050	574,681	-9.2
マシニングセンタ	90,650	89,098	-1.7	500,824	519,260	3.7
NCフライス盤	—	121	—	5,103	2,527	-50.5
NC専用機	35,390	39,357	11.2	193,385	223,008	15.3
NC中ぐり盤	5,400	9,287	72.0	43,115	49,689	15.2
NCその他	7,798	7,773	-0.3	74,443	62,047	-16.7
非 N C 小 合 計	8,846	9,012	1.9	60,087	57,960	-3.5
旋盤	1,659	2,595	56.4	16,921	13,224	-21.8
フライス盤	3,214	3,382	5.2	19,404	21,980	13.3
ボール盤	285	295	3.5	2,294	2,175	-5.2
研削盤	2,297	1,880	-18.2	12,407	12,029	-3.0
専用機	720	187	-74.0	4,409	4,227	-4.1
その他	671	673	0.3	4,652	4,325	-7.0
金 属 切 削 型	247,957	276,426	11.5	1,510,007	1,489,172	-1.4
金 属 成 形 型	34,441	31,674	-8.0	201,561	182,476	-9.5
総 合 計	282,398	308,100	9.1	1,711,568	1,671,648	-2.3

出所：韓国工作機械産業協会

韓国工作機械輸出統計(2014年6月)

○機種別輸出(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
N C 小 合 計	110,643	133,401	20.6	708,723	655,509	-7.5
NC旋盤	58,735	63,537	8.2	360,161	335,399	-6.9
マシニングセンタ	36,690	43,857	19.5	248,059	226,977	-8.5
NCフライス盤	1,802	2,293	27.3	6,640	9,986	50.4
NC専用機	100	295	194.6	1,029	4,453	332.7
NC中ぐり盤	5,654	5,243	-7.3	34,382	27,447	-20.2
NCその他	7,662	18,175	137.2	58,452	51,249	-12.3
非 N C 小 合 計	9,571	7,585	-20.8	63,100	64,387	2.0
旋盤	351	1,180	235.9	3,548	3,267	-7.9
フライス盤	740	917	23.9	3,965	4,550	14.8
ボール盤	780	452	-42.0	3,887	7,253	86.6
研削盤	2,204	1,065	-51.7	14,112	14,605	3.5
専用機	3	0	-97.2	538	208	-61.3
その他	5,493	3,971	-27.7	37,050	34,504	-6.9
金 属 成 形 型 合 計	68,513	39,343	-42.6	383,999	318,322	-17.1
金 属 切 削 型 合 計	120,214	140,986	-0.2	771,823	719,896	-5.5
総 合 計	188,727	180,329	-4.5	1,155,823	1,038,218	-10.2

出所：韓国通関局

○仕向け国別輸出(2014.1~6)

(単位：千USドル)

機 種 別	アジア	中 国	インド	アメリカ	欧 州	ドイツ	トルコ
N C 小 合 計	241,314	142,231	24,814	151,234	226,277	88,021	20,907
NC旋盤	70,440	32,413	12,132	94,724	154,012	67,046	14,781
マシニングセンタ	115,638	83,557	8,411	42,912	59,463	18,367	5,447
NCフライス盤	2,965	1,315	0	1	4,159	2,092	0
NC専用機	2,261	1,965	293	0	0	0	0
NC中ぐり盤	9,564	7,050	1,430	9,637	5,664	441	0
NCその他	40,444	15,932	2,548	3,961	2,980	74	679
非 N C 小 合 計	45,806	24,529	3,160	6,810	4,976	589	322
旋盤	2,097	190	172	1,109	6	1	0
フライス盤	2,549	482	155	313	1,257	133	29
ボール盤	3,498	1,410	90	2,870	207	0	4
研削盤	13,568	10,621	27	36	221	110	0
中ぐり盤	87	75	0	0	86	86	0
その他	24,007	11,752	2,716	2,482	3,199	258	288
金 属 成 形 型 合 計	179,237	90,326	10,583	48,820	51,243	1,498	8,026
金 属 切 削 型 合 計	287,120	166,760	27,974	158,044	231,253	88,610	21,229
総 合 計	466,357	257,087	38,556	206,864	282,496	90,107	29,254

出所：韓国通関局

韓国工作機械輸入統計(2014年6月)

○機種別輸入(2014.1~6)

(単位：百万ウォン)

機 種 別	2014.5	2014.6	前月比(%)	2013.1~6	2014.1~6	前年同期比(%)
N C 小 合 計	59,722	79,192	32.6	473,892	477,292	0.7
NC旋盤	7,056	9,308	31.9	52,581	63,443	20.7
マシニングセンタ	26,939	26,743	-0.7	111,649	202,207	81.1
NCフライス盤	636	3,852	505.7	24,538	22,768	-7.2
NC専用機	227	427	88.0	0	2,154	-
NC中ぐり盤	1,333	4,466	235.0	12,362	16,297	31.8
NCその他	23,531	10,141	-56.9	272,763	170,422	-37.5
非 N C 小 合 計	18,180	22,171	22.0	112,433	112,106	-0.3
旋盤	2,259	2,662	17.8	15,236	12,551	-17.6
フライス盤	409	2,411	489.5	6,721	7,320	8.9
ボール盤	788	838	6.3	5,637	6,034	7.0
研削盤	2,613	3,108	18.9	15,280	16,615	8.7
中ぐり盤	0	67	-	647	821	26.9
その他	12,110	13,087	8.1	68,913	68,766	-0.2
金属成型型合計	15,191	26,207	72.5	150,146	154,330	2.8
金属切削型合計	77,902	101,363	30.1	586,325	589,398	0.5
総 合 計	93,093	127,571	37.0	736,472	743,728	1.0

出所：韓国通関局

○輸入国別(2014.1~6)

(単位：千USドル)

機 種 別	アジア	日 本	台 湾	アメリカ	欧 州	ドイツ	イタリア
N C 小 合 計	299,425	237,228	29,617	19,479	157,915	106,373	16,364
NC旋盤	45,077	39,733	1,522	3,876	14,490	7,997	5,804
マシニングセンタ	129,879	111,099	16,371	4,010	68,318	57,228	778
NCフライス盤	10,229	9,465	137	142	12,393	9,770	2,464
NC研削盤	1,153	396	0	3	654	0	10
NC中ぐり盤	10,775	9,975	0	455	5,068	3,369	1,697
NCその他	102,313	66,561	11,586	10,995	56,991	28,009	5,611
非 N C 小 合 計	75,746	50,265	13,305	6,810	28,955	16,003	4,678
旋盤	10,624	6,010	2,590	101	1,825	221	112
フライス盤	5,921	5,069	641	122	1,270	820	221
ボール盤	5,513	3,868	353	41	480	89	95
研削盤	13,458	8,950	2,694	136	2,519	579	1,173
中ぐり盤	774	227	0	1	46	37	9
その他	39,456	26,141	7,026	6,409	22,814	14,257	3,068
金属成型型合計	81,385	64,094	9,929	6,379	66,112	20,839	13,747
金属切削型合計	375,171	287,493	42,922	26,289	233,661	122,376	66,629
総 合 計	456,556	351,588	52,850	32,668	252,981	143,215	34,789

出所：韓国通関局

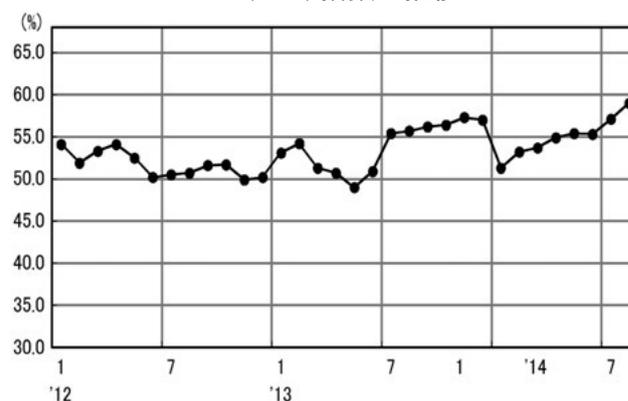
2. 主要国・地域経済動向

◆米国：PMI 59% (8月)

米サプライ・マネジメント協会 (ISM) の購買管理指数 (PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数) の8月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「PMIは59%で、前月の57.1%から1.9ポイント増加した。今月のPMIは、2011年3月の59.1%以来、最高額であった。新規受注は、前月の63.4%から3.3ポイント増加して、66.7%であった。生産は、前月の61.2%から3.3ポイント増加して、64.5%であった。雇

用は14カ月拡大傾向で (50.6%以上は拡大)、前月の58.2%からわずか0.1ポイント減少して58.1%であった。8月のPMIは、67.1%を記録した2004年

ISM(PMI)指数の推移



4月以来の最高値であった新規受注に牽引された。回答者からのコメントは、明るい見通しの中にも世界の地政上の不安定への懸念も混ざったものであった。」

なお、8月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の17業種が「企業活動を拡大した」と回答している。プラスチック&ゴム製品、家具・関連製品、金属製品、アパレル&皮革関連製品、木工製品、印刷・同関連サービス、雑貨、紙製品、石油&石炭製品、食料&飲料&たばこ、非鉄鉱産物、化学製品、金属製品、輸送機械、コンピューター&電気製品、機械、電気機器・家電製品・部品。

ISMが発表した8月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項目	2014年8月指数	2014年7月指数	備考
ISM指数 (PMI)	59.0	57.1	前月比1.9ポイント増加。PMIが50%を超えると製造業の拡大を示唆。
生産	64.5	61.2	前月比3.3ポイント増加。拡大の基準は、51.1以上である。
新規受注	66.7	63.4	前月比3.3ポイント増。拡大の基準は52.1である。14業種が増加を報告した。
受注残高 (季節調整なし)	52.5	49.5	前月比3.0ポイント増加。11業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	53.9	54.1	前月比0.2ポイント減少。長期化の基準は、50以上。11業種が長期化を報告した。
在庫	52.0	48.5	前月比3.5ポイント増加。拡大の基準42.8ポイントを上回った。10業種が在庫増を報告した。
雇用	58.1	58.2	前月比0.1ポイント減少。14業種が増加を報告した。
仕入れ価格	58.0	59.5	前月比1.5ポイント減少。9業種が増加を報告した。
輸出受注	55.0	53.0	前月比2.0ポイント増加。11業種が増加を報告。
原材料輸入	56.0	52.0	前月比4.0ポイント増加。12業種が増加を報告。

(ISM Manufacturing Report on Business 2014年9月2日付)

◆米国：製造業設備稼働率は若干減少(7月)

2014年7月の設備稼働率(速報値)は、全製造業で77.8%、耐久財製造業で78.6%、機械製造業で81.1%となった。

米国製造業の設備稼働率月次推移



前月比で見ると、全製造業では+0.6、耐久財製造業では+1.1、機械製造業では+0.5ポイントであった。

一方、前年同月比で見ると全製造業では+2.2ポイントであった。

(FRB Statistical Release G.17/8月15日付)

◆ドイツ工作機械産業、依然として好調

2014年第2四半期のドイツ工作機械受注は、前年同期比1%増であった。うち内需は前年同期比16%増、外需が7%減であった。

2014年上半期受注では、前年同期比6%増であった。うち内需は18%増、外需は1%減であった。

ドイツ工作機械工業会 (VDW) の Schäfer 専務は、「2014年上半期のドイツ工作機械産業は依然として、需要がある状況であった。特に国内需要は、好調であった。しかしながら外需は、マイナスであった。多くの紛争地域による全体的な不安定感が、海外顧客に新規投資を差し控えさせた。特にこの傾向は、ユーロ圏外からの工作機械受注の減少により第2四半期に顕著となった。ユーロ圏自体は、対照的に増加傾向が戻り、13%増であった。」と述べた。

2014年上半期販売は、±0であった。生産は、今年3%増を予測している。しかし、これは野心的な目標であり、海外からの需要の回復具合によるであろう。

2014年上半期、販売は、受注の状況を反映して、ドイツ国内へとシフトした。対照的に、輸出は、

減少傾向を示した。原因のひとつは、中国、韓国、インド向けの減少である。「アジアとのビジネスは我々の予測以上に厳しかった。にも拘わらず、海外の産業生産と設備投資は、2014年増加を予測している。米国市場は、ドイツ製造業にとって需要増の元であり、一方、欧州は全体的に不景気である。」と Schäfer 専務は述べた。

(VDW Press Release 2014年8月27日付)

◆7月機械受注プラマイゼロに

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) が1日発表した独産業界の7月の新規受注高は前年同期比で横ばいにとどまった。国外受注は4%増となったものの、国内が6%減少。足を強く引っ張った。

国内は2カ月連続で減少した。VDMAのエコノミストによると、地政学リスクの増大に伴う景況感の悪化が響いたという。

国外は欧州域外からの受注が増加。大型設備の需要も多かったため、ロシアからの受注減が相殺された。

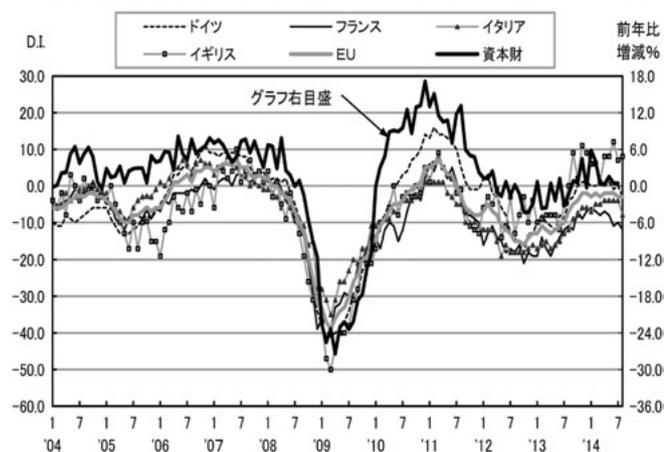
特殊要因による統計上のブレが小さい3カ月単位の比較をみると、5～7月は前年同期を2%上回った。国外が4%増加、国内は2%減少した。

(Press Release (2485) 2014年9月1日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(8月)

欧州委員会の発表した2014年8月のEU主要国製

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



造業景気動向指数(D.I.) (修正後)によると、EU全体では±0ポイントであった。国別では、ドイツが3ポイント減、フランスが1ポイント減、イタリアが4ポイント減、イギリスは1ポイント増であった。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2014年7月は前年同月比で0.4増となった。なお、2014年8月の数字は未発表である。

(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

◆ルーマニアの機械需要拡大、国外からの調達为中心

ルーマニアは好況による設備投資や大型インフラ投資の実施で今後、機械の需要が拡大する見通しだ。国内の機械産業が比較的弱いため、国外からの調達为中心となる。

設備投資が見込まれるのは、自動車部品産業、インフラ整備、環境技術、エネルギー業界などだ。資源開発プロジェクトも計画されることから、鉱業向け荷役機械の需要も高まりそうだ。

また、欧州連合 (EU) の7カ年予算が今年スタートし、来年から予算を活用した大型インフラ整備・地域振興に向けた公共投資が本格化する。

ルーマニアの機械輸入高は昨年、前年比2%減の64億ユーロ弱にとどまった。しかし、昨年の経済成長が3.5%に達したことから、今年は機械設備産業にも好景気が波及。第1四半期の輸入高は前年同期を7.4%も上回った。

ルーマニア経済は今年と来年も約3%成長する見通し。製造業がけん引していることから、設備投資として電機、荷役機械、木材加工機械、製紙機械などの調達が増える見込まれている。

(Suedosteuropa aktuell (2475) 2014年8月1日付)

3. 工作機械関連企業動向

◆Schuler社、新製品の登場で10%の成長

8月7日：新製品の登場およびアジアと北南米

における強い需要に支えられて、プレス機メーカーのSchuler社は2014会計年度の上半期にさらなる成長を果たした。新規の受注高は、前年同期比で10.5%増の5億5,460万ユーロとなった。グループ全体の純利益も、2014会計年度上半期に前年同期比で10.1%増加して2,510万ユーロとなった。EBITA（利払い・税引き・減価償却前の営業利益）は3,960万ユーロ、EBITA利益率は7.3%となった。

●売上高と収益予想を上方修正

今年のこれまでの成長を考慮して、Schuler社は売上高と収益予想を上方修正した。同社は現在、2014会計年度の売上高を11億ユーロから12億ユーロへ、EBITA（利払い・税引き・減価償却前の営業利益）利益率を7~8%へ上方修正した。同社はこれまで売上高を11億ユーロ前後、EBITA利益率を6~7%と予想していた。現在のプロジェクト状況から、2014会計年度上半期の売上高は前年同期よりも僅かに減少して5億4,020万ユーロとなった。受注残高は11億ユーロ前後あり、Schuler社の生産能力を2015年までフル活用するのに十分である。「大規模パイプライン建造のためのスパイラル鋼管ラインの大型注文2件と、最新世代サーボプレス機の複数の注文によって、我々は新しい市場と顧客を開拓することに成功しました。」Schuler社のCEOステファン・クレバート氏は、半期の業績について述べている。Schuler社は、過去数年間にわたって同グループの国際化を力強く牽引してきた。たとえば、Schuler社は中国の大連に大規模な生産工場を建設している。中国北部の天津港では、実証センターを現在建設中である。

●自己資本比率が30%に近づく

Schuler社の営業活動によるキャッシュフローは、2014会計年度上半期に6,090万ユーロの黒字となり、いっぽう前年同期は900万ユーロの赤字であった。キャッシュフローが増加した理由は、正味運転資本が大幅に減少したことにある。同時期に、グループの純資産は2億1,460万ユーロから3億2,370万ユーロへと増加した。収益が改善したために、自

己資本は6.6%増加して2億9,530万ユーロとなり、自己資本比率は29.2%となった。

●大型ボーリングマシンをエルフルトに導入

Schuler社は、幅広い投資計画の一環として新たに大型ボーリングマシン（中ぐり盤）1基を2014年6月にドイツのエルフルト工場に導入した。600万ユーロ以上を投じたこの機械は、グループにとって同工場への単発投資として過去最大額である。クレバート氏は述べる。「この機械は、エルフルト工場の生産力と競争力を大いに強化してくれるでしょう。」

(http://www.schulergroup.com/major/us/unternehmen/presse/pressemeldungen/tab/archiv/2014/2014_08_07_q2/index.html)

◆プレス機向けの待機運転

8月14日：Schuler社が先ごろ液圧プレス機向けに開発した駆動システムは、従来のラインに比べてエネルギー消費量を最大60%削減することができる。この新しいテクノロジーは、『高効率液圧成形（Efficient Hydraulic Forming：EHF）』と呼ばれ、運転の全ての段階でエネルギーを節約して最大限に活用できるうえ、機械の操作者から何もアクションをおこす必要がない。システムはモジュール設計になっており、既存のラインに組み込んで変更することができる。このテクノロジーの自立機能によって、主駆動は必要でないとき、例えば成形工程にエネルギーが不要になったときなどには自動的にスイッチが切れるようになっている。「我々は、駆動系の通常の起動機能をバイパスして、僅かな時間でもロスがないように活用できる特許起動システムを開発しました。」代表取締役社長のマーティン・ハバート博士は説明する。これは、エネルギー消費量を削減するだけでなく、消音効果もある。

(http://www.schulergroup.com/major/us/unternehmen/presse/pressemeldungen/tab/archiv/2014/2014_08_14_ehf/index.html)

◆Hardinge社、Voumard社を買収

9月9日：先端金属切削ソリューションとアクセサリを提供する世界有数の企業Hardinge社（NASDAQ：HDNG）は、ドイツのレンツブルグにあるPeter Wolters GmbHからVoumardの内径（ID）研削事業の資産を買収する契約に入った。Voumard社は、スイスのヌーシャテルに約70年前に設立された内径研削市場を主導する有数企業であり、世界中の2,500以上の顧客に9,000以上の機械ソリューションを設置している。同社は、Peter Wolters社に2005年に買収された後、2010年にドイツへ移転した。Hardinge社の会長兼社長兼CEOのリック・シモンズ氏は述べる。「我々は、Kellenberger、Hauser、Jones & Shipman、Tschudin、Usachなど豊富な当グループのラインアップに、Voumardの製品を加えて、さらに強固になることを喜ばしく思っています。我々はVoumardの生産とサポートを古巣のスイスへ戻し、我が社の既存のKellenberger事業と統合する計画です。今年末までに機械の値付けを開始し、2015年後半までには最初の販売体制を整える予定です。」「Voumard社の一連の内径（ID）製品は、我がHardinge Grinding Groupの現在の製品ラインを補完するものであり、内径および外形の円筒研削ソリューションの包括的なラインアップをお客様にお届けすることができます。Voumard社のお客様は、我がKellenberger事業で経験されてきたのと同様の優れた品質と技術サポートを期待できるでしょう。今回の買収は、新製品の開発と目的を絞った買収を通して成長していくという我が社の戦略の一環です。」シモンズ氏は述べた。

(http://files.shareholder.com/downloads/HDNG/3461401561x0x780718/bbeeb93e-c916-402d-a40d-25cdd03c9860/HDNG_News_2014_9_9_General_Releases.pdf)

◆Hardinge社、2014会計年度第2四半期の決算報告

8月7日：先端金属切削ソリューションとアクセサリを提供する世界有数の企業Hardinge社（NASDAQ：HDNG）は、2014会計年度第2四半期（2014年4～6月）の決算報告を行った。比較する2013年の数字には、2013年5月9日の買収日以降のForkardt事業が含まれている。2014会計年度第2四半期の純売上高は7,900万ドルであり、前年同期比でほぼ横ばいとなった。2014会計年度第2四半期の受注高は、前年同期の7,700万ドルから8,000万ドルへと増加した。2014会計年度第2四半期の継続的事業活動からの純利益は130万ドル、希薄株1株当たり\$0.11となり、いっぽう前年同期のそれは210万ドルで希薄株1株当たり\$0.18であった。Hardinge社の会長兼社長CEOのリック・シモンズ氏は述べる。「我々の2014会計年度第2四半期の数字は、世界の工作機械市場の緩やかな成長環境から見てほぼ予想通りだったといえるでしょう。我々がとりわけ期待しているのが中国における継続的な活動であり、引き続き市場シェアは広がっていると考えています。中国市場での我が社の製品に対する需要はとりわけ高く、強固な顧客サポートと製造組織に支えられ、我々の地位は向上していきます。」

四半期毎の地域別売上高

販売地域	2014年4～6月		2013年4～6月		2014年1～3月	
	\$	全体に占める割合	\$	前年同期比	\$	前期比
北米	25,029	32%	26,116	(4)%	23,203	8%
ヨーロッパ	25,370	32%	23,284	9%	25,305	-%
アジア	28,452	36%	29,955	(5)%	22,342	27%
合計	78,851	-	79,355	(1)%	70,850	11%

• 2014会計年度第2四半期の概説

Hardinge社の全地域と全産業を合わせた連結売上高は、受注やプロジェクトのタイミングによって四半期毎に大きく変動する。Hardinge社は、そういった四半期毎の変動が大きな事業動向を示すものだとは考えていない。むしろ事業の動向は、

会社の長期的な業績、例えば12ヶ月間の変化などから理解されるものだと信じている。

ヨーロッパにおける売上高の増加は、Forkardtの買収の恩恵が四半期全体に働いたためである。ヨーロッパでの増加は、同社の北米と東南アジア市場の売上げ減少によって一部相殺され、連結売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなった。Forkardt製品の売上高は、2014会計年度第2四半期の売上高のうち950万ドルを占め、いっぽう前年同期のそれは510万ドルであった。

2014会計年度第2四半期の粗利益は2,200万ドルで、前年同期比で80万ドル減少した。売上総利益率は27.9%となり、前年同期の28.7%からは減少したものの、前期の27.1%から増加した。前年同期に比べて売上総利益率が悪化したのは、機械の生産が減少し、その結果いくつかの工場でコストの吸収がうまくいかなかったことが主な原因である。販売管理費（SG&A）は、前年同期比で20万ドル増加して2,010万ドルとなり、これは売上高の25.5%に相当する。販売管理費の増加には、Forkardt事業に関連して漸増する販売管理費30万ドルが含まれるが、Hardinge社の本業のコスト抑制によって一部相殺された。2014会計年度第2四半期の営業利益は160万ドルであり、いっぽう前年同期は270万ドルであった。営業利益の減少は、売上総利益率の低下と売上高の微減が主な原因である。2014会計年度第2四半期の営業利益率は、2.1%であった。

(<http://ir.hardinge.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=864890>)

◆ Hurco社、2014会計年度第3四半期の決算報告

9月5日：Hurco社（Nasdaq：HURC）は、2014会計年度第3四半期（2014年5～7月）の純利益を\$4,375,000、希薄株1株当たり\$0.66と報告した。いっぽう前年同期の純利益は\$854,000、希薄株1株当たり\$0.13であった。2014会計年度の第1～3四半期の9ヶ月間（2013年11月～2014年7月）で、Hurco社

の純利益は\$10,280,000、希薄株1株当たり\$1.56となり、いっぽう前会計年度の第1～3四半期の9ヶ月では純利益が\$6,291,000、希薄株1株当たり\$0.96であった。

2014会計年度第3四半期の売上高とサービス料は合わせて\$55,379,000となり、これは前年同期比で23%増、\$10,221,000の増加である。2014会計年度第1～3四半期（2013年11月～2014年7月）の9ヶ月間にHurco社の売上高とサービス料は\$160,080,000となり、前年同期比で15%増、\$21,218,000増加した。2014会計年度第3四半期、および第1～3四半期の9ヶ月間の売上高とサービス料が増加したのは、決算報告のために外貨建の売上高を米国ドル建へ換算する際に、為替レートのおかげでそれぞれ\$1,655,000と\$3,956,000のプラスの影響があったためである。

2014会計年度第3四半期のヨーロッパとアジア太平洋地域における売上高とサービス料は、前年同期比でそれぞれ41%、15%増加した。これらの地域の売上高が全体として改善したのは、おもに出荷高の増加と高性能機械の品揃え充実が功を奏したためである。ヨーロッパにおける売上高とサービス料には、Hurco社のイタリアを拠点とする子会社LCM Precision Technologies（LCM）社が製造する電子機械コンポーネントとアクセサリの売上げが、2014会計年度の第3四半期には\$2,616,000、第1～3四半期の9ヶ月間には\$6,419,000含まれている。いっぽう2013会計年度のそれぞれの期間におけるLCM製品の平均月間売上高は\$523,000であった。

Hurco社は、LCM社の工作機械コンポーネント事業を2013年7月1日に買収した。2014会計年度の第3四半期と第1～3四半期9ヶ月間にヨーロッパにおける売上高とサービス料が増加したのは、決算報告のために外貨建の売上高を米国ドル建へ換算する際に、EUユーロと英国ポンド高のおかげで各時期にそれぞれ約\$1,735,000と\$4,249,000のプラスの影響があったためである。

2014会計年度第3四半期の北米における売上高とサービス料は、前年同期比で7%減少した。2014会計年度の第1～3四半期（2013年11月～2014年7月）の9ヶ月間に、北米の売上高は、2013会計年度に記録的な売上高を達成したのに比べて市場の軟化を経験した。概して言うと、2年に1回、偶数年の9月に開催されるInternational Manufacturing Technology Showの直前数ヶ月の間に北米の売上高が軟化するの稀ではない。

2014会計年度の第3四半期（2014年5～7月）の受注高は、前年同期比で22%高、\$10,244,000増加して、\$56,378,000となった。2014会計年度第3四半期のヨーロッパの受注高には、LCM製品の受注高が\$1,258,000含まれており、いっぽう前年同期の受注高には、LCM製品の受注高が\$3,768,000含まれていた。2013会計年度第3四半期のLCMの受注高には、買収日に存在していた受注残高と買収後1ヶ月間の新規受注が含まれていた。2014会計年度の第1～3四半期（2013年11月～2014年7月）の9ヶ月間の受注高は、前年同期比で14%増、\$21,145,000増加して\$167,152,000となり、このなかにはLCM製品の受注高\$7,285,000が含まれている。2014会計年度の第3四半期と第1～3四半期9ヶ月間にヨーロッパの受注高が増加したのは、ドイツとイギリスの受注高が伸びたことが主な原因である。またアジア太平洋地域の受注高が2014会計年度の第3四半期と第1～3四半期9ヶ月間に増加したのは、複数の機械受注と高性能機械の品揃えが増えたことが主な原因である。2014会計年度の第3四半期と第1～3四半期9ヶ月間に予約された受注高の為替レートの影響は、この時期の売上高への影響と同様であった。

右の表は、2014会計年度と2013会計年度の第3四半期および第1～3四半期9ヶ月間の地域別の新規受注高である。

地 域	第3四半期 (5～7月)				第1～3四半期 (前11～7月) 9ヶ月間			
	2014	2013	増減 (\$)	増減 (%)	2014	2013	増減 (\$)	増減 (%)
北 米	14,039	14,427	-388	-3%	40,040	42,076	-2,036	-5%
ヨ ー ロ ッ パ	36,368	28,267	8,101	29%	110,698	89,719	20,979	23%
ア ジ ア 太 平 洋	5,971	3,440	2,531	74%	16,414	14,212	2,202	15%
合 計	56,378	46,134	10,244	22%	167,152	146,007	21,145	14%

(単位：千ドル)

Hurco社の粗利益は、2014会計年度第3四半期に\$18,012,000となり、これは売上高の33%である。いっぽう2013会計年度第3四半期の粗利益は\$11,715,000で、売上高の26%であった。また2014会計年度第1～3四半期9ヶ月間の粗利益は\$48,560,000となり、これは売上高の30%である。いっぽう前年同期の粗利益は\$39,914,000となり、売上高の29%であった。粗利益が増えたのは、とくに高性能機械の主な市場であるヨーロッパにおいて売上高が増加したこと、および2014会計年度を通して生産レベルが高く維持されてコスト効率が改善されたことが主な理由である。

(<http://www.hurco.com/en-us/about-hurco/investors/Pages/News-Releases.aspx>)

4. その他

◆ユーザー関連トピックス

独機械製造アルブルク、チェコ工場を拡張

ドイツの射出成型機械メーカーアルブルクは7月半ば、チェコ第2の都市ブルノにあるテクノロジーセンターの拡張工事に着手した。同社は顧客の希望に応じたオーダーメイドシステムの受注が好調なため、今後の需要拡大に対応できる生産体制を整備する。2015年初めの完成を見込む。

センターの施設面積は現状の約5割増の1,600平方メートルに拡張される。拡張後はオートメーション式セル生産システムの組み立て、試験、最適化作業を3基並行して行えるようになるため、納品期間を短縮できる。また、最新オートメーション技術の実用例を顧客に紹介する場としても活用する。

アルブルクは2005年、オートメーションシステム事業でチェコとスロバキアに進出した。注力するオーダーメイド・トータル生産システムのターンキーシステム事業は地元会社と提携して展開する。同事業は年成長率が10～15%と急成長を遂げている。

(Press Release(2474) 2014年7月28日付)

欧州委、シーメンスによるロールスのエネ部門買収を承認

欧州委員会は4日、独エンジニアリング大手シーメンスが英ロールス・ロイス・ホールディングス・グループのエネ部門の一部を買収する計画を承認したと発表した。

シーメンスは5月、ロールス・ロイスのガスタービン、コンプレッサー事業と、同社製ガスタービンの保守を請け負う合弁会社ロールス・ウッド・グループの株式50%を総額9億5,000万ユーロで取得することで合意していた。

欧州委は審査の結果、両社のガスタービン、コンプレッサー事業での競合関係は薄く、シーメンスは買収後も他社との激しい競争にさらされるとして、無条件で買収を承認した。

(AFP(2476) 2014年8月4日付)

独フォイト、自動車産業向けサービス会社買収

独機械大手のフォイト（ハイデンハイム・アン・デア・ブレンツ）は6日、米国の自動車産業向けサービス会社フェリックス・システムズを完全買収すると発表した。戦略的に重視する北米市場で産業用サービス事業を強化する狙い。取引金額は公表しないことで合意した。

フェリックス・システムズは自動車産業向けにオートメーション、システム・コントロール、プラント・エンジニアリングの総合的なサービスソリューションを提供している。従業員数は260人で、昨年は3,000万ドルを売り上げた。フォイトは同社をサービス部門フォイト・インダストリアル・

サービスズに統合する。

(Press Release(2477) 2014年8月6日付)

独デュル、航空機組立装置事業を売却

機械大手の独デュル（ビーティヒハイム・ビッシンゲン）は11日、航空機組立装置事業を同業ブレーティエ・オートメーション（Broetje-Automation）に売却することで合意したと発表した。同取引によりブレーティエは航空機の組立に必要な機械を一手に提供できるようになる。取引金額は非公開。デュルは現金のほか、ブレーティエ株11%を取得する。

デュルは航空機組立装置分野で巨大部材の運搬やポジショニング、計測を行う機械を製造している。従業員数は約120人で、昨年はおよそ3,500万ユーロを売り上げた。

ブレーティエは独北部のヴィーフエルシュテデーに本社を置く企業で、従業員数は500人強、売上高は約1億ユーロ（2013年）。ドリルマシン、リベッティングマシンに強く、デュルの当該事業とは補完性が高い。デュルによると、ブレーティエは今回の取引により、航空機組立装置の世界最大手メーカーになる。

ブレーティエは投資会社DBAGの傘下企業。日刊紙『フランクフルター・アルゲマイネ』によると、DBAGが将来、ブレーティエを売却する場合、デュルが買収する可能性が考えられるという。デュルは自動車用塗装装置の世界最大手メーカー。同塗装装置市場では成長の余地が小さいため、デュルは他の分野で事業を拡大する意向で、7月には独木工機械大手のHOMAGを買収すると発表した。

(Press Release(2478) 2014年8月11日付)

独ノルデックス、アフリカ市場開拓に意欲

風力発電タービン大手の独ノルデックス（ハンブルク）がアフリカ市場の開拓に意欲を示している。ユルゲン・ツェシュキー社長は日曜版『ヴェルト』紙に対し、同社の中核市場は現在、21カ国

あると指摘したうえで、市場トップ3に食い込め
そうな国がさらに1～2カ国あると発言。特にア
フリカは有力だとの見方を示した。

同社が14日発表した2014年1～6月期（上半期）
決算の営業利益は3,710万ユーロで、前年同期を
147%上回った。コスト削減と規模の効果がプラス
に働いた格好。純利益は前年同期の130万ユーロ
から1,650万ユーロへと急増した。

売上高は8億1,540万ユーロで、前年同期を23.4
%上回った。ラテンアメリカ事業が特に好調だっ
た。新設能力は667.3メガワットで、約19%増加。
新規受注高は8%増の9億890万ユーロに拡大した。
(Press Release (2479) 2014年8月14日付)

ヴェスタス、業績予測引き上げ

風力発電用タービンで世界最大手のヴェスタス
(デンマーク)は20日の決算発表で、2014年通期
の業績予測を上方修正した。コスト削減が奏功し
たほか、今年下半期の販売見通しが良好なため、
売上高営業利益率（特別項目を除くEBITベース）
を従来の5%以上から6%以上に引き上げた。

14年4～6月期（第2四半期）の最終損益は9,400
万ユーロの黒字で、前年同期の赤字（6,200万ユー
ロ）から大幅に改善した。黒字計上は3四半期連続。
売上高は13%増の13億4,100万ユーロで、EBIT（特
別項目を除く）は前年同期の1,200万ユーロから1
億400万ユーロに急拡大した。

同社は風力タービン価格の下落を受けて業績が
悪化。コスト削減に取り組んだほか、三菱重工と
洋上風力発電タービン分野で合弁会社を設立した。
(Press Release (2480) 2014年8月20日付)

シーメンス、洋上風力発電タービン67基を受注

電機大手の独シーメンス（ミュンヘン）は21日、
英国のダジョン洋上風力発電パークにタービン67
基を納入することで、同パークの運営事業者と合
意したと発表した。取引金額は5年間のサービスを
含めて約5億ポンド（6億5,000万ユーロ）。2017

年初頭の着工を予定する。

ダジョン発電パークはイングランド東部クロマ
ー市の沖合32キロの海域に開設される。出資者は
ノルウェーの国営エネルギー事業者スタトイルと
スタットクラフトで、スタトオイルは70%を出資
し運営を引き受ける。

シーメンスが納入するタービンはローター直径
が154メートル、発電容量は6メガワット（MW）。
同パーク全体の発電容量は402MWで、計41万以上
の世帯に電力を供給する。

(Press Release (2482) 2014年8月21日付)

川崎重工、トルクメニスタンでGTL設備を受注

川崎重工業は8月27日、トルコの建設会社ルネ
ッサンスと共同で、天然ガスを原料にガソリンを
製造するガス・ツー・リキッド（GTL）設備を受
注したと発表した。トルクメニスタンの国営ガス
公社トルクメンガスに納入するもので、契約金額
は約1億5,000万円（17億米ドル）。2018年4月に稼
動する計画だ。

関係者の発表によると、新設備は首都アシガバ
ード市の北部に設置する。デンマークのトプソー
が持つ最新技術を採用する。年間で17億8,500万
立方メートルの天然ガスを処理し、オクタン価92
のガソリンを60万トン製造する。

投資額の85%を国際協力銀行（JBIC）の融資で、
残りはトルクメンガスの自己資金でまかなう。

トルクメニスタンは天然ガス埋蔵量で世界第4
位の資源国。輸出製品の高付加価値化に取り組ん
でおり、先月19日には三菱商事とトルコのインサ
ートに肥料プラントを発注した。ほかにも、ガス
液化プラントやポリ塩化ビニル、苛性ソーダのプ
ラントを設置するプロジェクトが動いている。

(Press Release (2483) 2014年8月27日付)

独研究所、鋼鉄製ピストンの鍛造技術を研究

ドイツのハノーファー統合生産研究所（IPH）
は産業界と共同で、エンジンに使用する鋼鉄製ピ

ストンの新しい鍛造技術の開発に取り組んでいる。上からだけでなく、横からも圧力を加えることにより、鍛造後にピストンに穴を開けるための切削加工を不要にすることを目指している。同技術を実用化できれば、ピストンの製造に使用する材料を最大10%削減できるほか、穴を開ける手間を省けるため、生産に必要なエネルギーやコストを抑えることができる。

従来の鍛造では、上から圧力をかけて成形した後ピストンをコネクティングロッド（連接棒）に連結するためのリストピンを通す穴を切削加工する必要がある。IPHのプロジェクトでは、上からだけでなく、横からも加圧することにより、目的の形に鍛造できる技術の開発を目指している。

IPHではすでに多方向から加圧する技術を試験した実績があり、同技術を鋼鉄製ピストンにも応用していく計画という。また、同技術はヒンジや

サスペンションアームなどにも活用できると見込んでいる。

同プロジェクトには、鉄鋼メーカーやピストンメーカーなど産業界から9社が参加している。実施期間は2016年2月まで。連邦経済エネルギー省の助成政策である産業共同研究開発プログラム（IGF）の一環に位置付けられる。

IPHのエンジニアは、軽量なアルミニウムを使用したピストンが今後は鋼鉄製ピストンに移行していくと予想している。アルミニウムは軽量なため燃費改善に寄与する利点があるが、さらに燃費を向上させるため、小型のターボエンジンが増える傾向が強まっていることが背景にある。ターボエンジンでは点火時にピストンにかかる負荷が高まるため、アルミよりも耐久性に優れる鋼鉄製ピストンの需要が高まると見込んでいる。

(Press Release(2484) 2014年8月27日付)

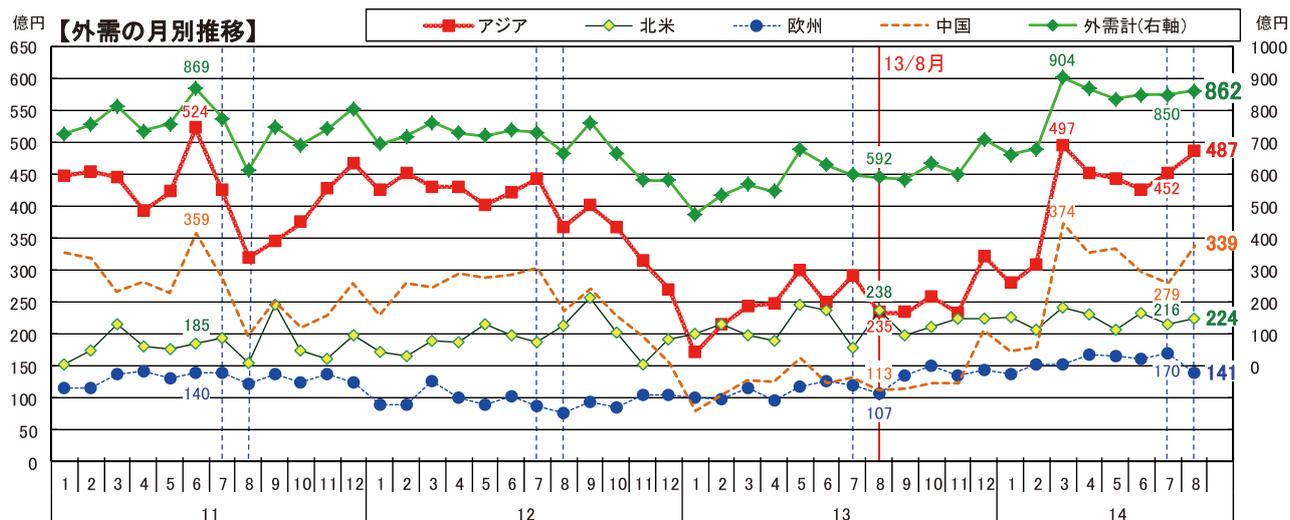
5. 日工会外需状況(8月)

外需【8月分】

862.5億円 (前月比+1.4% 前年同月比+45.7%)

外需総額

- ・前月比は3カ月連続増加 前年同月比は10カ月連続増加
- ・6カ月連続の800億円超。高水準の受注が継続
- ・夏季休暇等の影響から欧州は減少するも、アジア、北米は増加



出所: 日本工作機械工業会

外需【8月分】

主要3極別受注

①アジア

- ・アジア計は、6カ月連続の400億円超
9カ月連続の前年同月比増加
- ・東アジア計は、5カ月ぶりの400億円超
リーマンショック以降で2番目の高水準
- ・中国は、3カ月ぶりの300億円超
- ・その他のアジア計は、すべての国・地域で
前月比減少し、2カ月ぶりの100億円割れ

②欧州

- ・欧州計は、7カ月ぶりの150億円割れ
前年同月比は16カ月連続増加
- ・ドイツは、2カ月連続で50億円超
- ・イギリスはリーマンショック以降の最高額
(8月 28.2億円、 従来:14年5月 27.2億円)

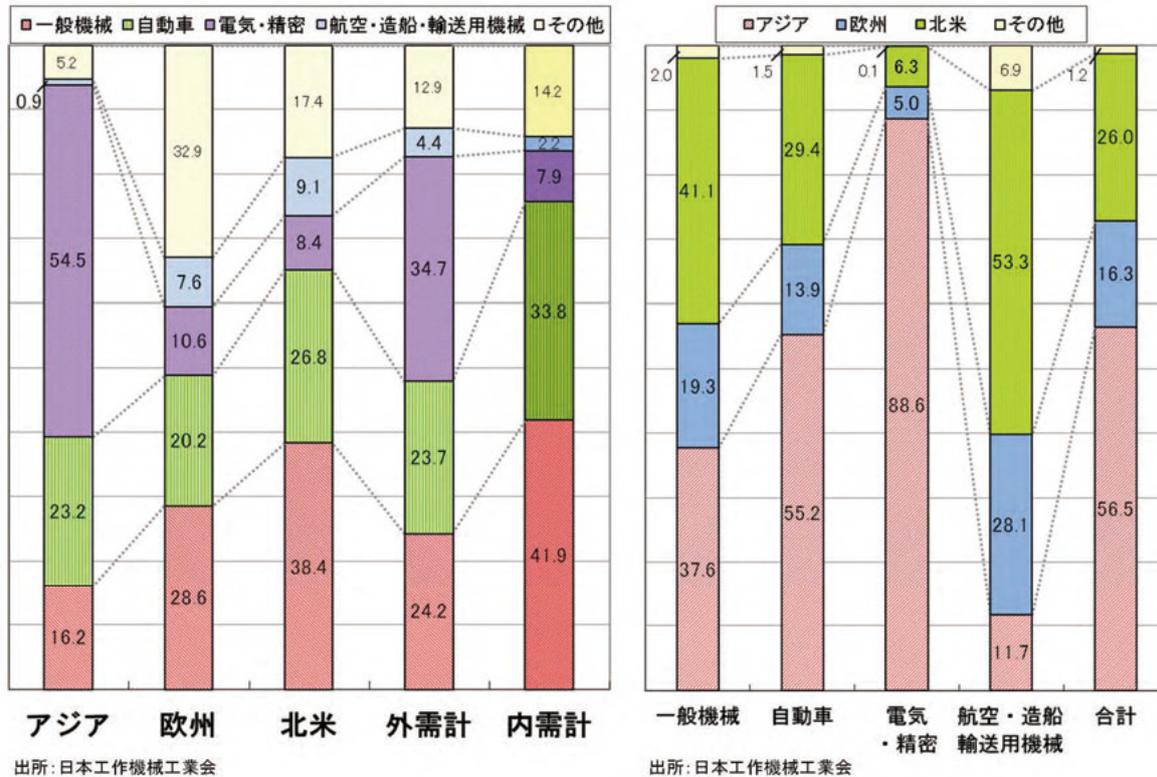
③北米

- ・北米計は2カ月ぶりの前月比増加
11カ月連続の200億円超
- ・メキシコは、2カ月連続の20億円超

国・地域	受注額 (億円)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
アジア	487.0	+7.6	+107.3
東アジア	406.5	+21.1	+155.1
中国	339.2	+21.4	+200.7
その他のアジア	80.4	△31.2	+6.6
タイ	22.1	△33.3	+7.1
インド	13.9	△42.9	+47.0
欧州	140.9	△17.2	+31.7
ドイツ	50.5	△5.3	+55.9
北米	224.1	+3.6	△6.0
アメリカ	192.5	+3.3	△9.1

外需【8月分】

主要3極別・業種別受注構成



外需 地域別構成の推移

8月はアジア、北米の占める割合が増加。欧州は2カ月ぶりの1割台

□うち中国 □アジア □欧州 □北米 □中南米 □その他地域

